

議事録兼報告書

会議名	第1回辰野町行財政改革推進委員会		
開催日時	平成23年11月24日(木)午後6時から		
場所	辰野町役場第6会議室		
出席者 (敬称略)	(委員) 高木清房委員、倉沢有里子委員、林善教委員、矢島良幸委員、上島安人委員、赤羽弘江委員、山寺はる美委員、新村清孝委員、新田敏一委員、福島哲治委員、吉江広光委員、小沢良教委員 町) 矢ヶ崎町長、一ノ瀬まちづくり政策課長、一ノ瀬まちづくり政策課課長補佐、三浦財政係長、平泉行財政改革係長、木村専門員、殿内上級係員	出席人数	
		委員	12人
欠席者 (敬称略)	(委員) 船木善司委員、福島英雄委員、外戸明委員	町	7人
		計	19人
会議次第	1. 開会 2. 町長あいさつ 3. 委嘱書の交付 4. 自己紹介 5. 経過報告 6. 正・副会長選出 7. 正・副会長あいさつ 8. 諮問について 9. 協議事項 (1) 第五次行財政改革大綱について ア第四次行財政改革大綱推進プログラム(評価表)について イ中期財政見通しについて ウ第五次行財政改革大綱について エ第五次行財政改革大綱推進プログラムについて (2) 今後日程について 10. その他 11. 閉会		
資料	(配布資料) 第四次行財政改革大綱推進プログラム(評価表) 中期財政見通し 第五次行財政改革大綱(案) 第五次行財政改革大綱推進プログラム(案)		
会議結果			
発言者	議事内容		
1. 開会	開会前に一ノ瀬課長補佐から資料確認。開会 一ノ瀬まちづくり政策課長		
2. 町長あいさつ	<p>大変遅い時間帯でありますけど、第1回の行財政改革推進委員ということで後ほど皆様に委嘱書を交付させていただきます。今日の会議は今後五年間辰野町の行財政改革の方針の協議をいただく会議です。第五次行財政改革大綱(案)、それに第五次行財政改革推進プログラム(案)第四次行財政改革推進プログラム(評価)の作成にあたっては、行財政改革推進本部会の3部会において慎重審議して策定にあたりました。皆様方のご意見をいただいて(案)に反映させていきたい。第四次行財政改革大綱推進プログラムの評価を踏まえ、引き続き「住民と行政の協働のまちづくり」のテーマを継続し、一層推進することにより行政のスリム化を図って進めていきたい。今後、大型事業(町立辰野総合病院の整備事業(新築移転)湯舟配水池整備事業、役場耐震改良事業が控えているがこれらに耐えうる健全財政を目指す。「選択と集中」により優先順位をつけ緊急性の高い事業から行政運営していく。これも、行財政改革の中で検討していただいて仕分けをしていく必要があります。</p> <p>そのためには、PDCAサイクル、計画立案(プラン)実施(ドゥ)評価(チェック)改善(アクション)を進めて行きます。</p> <p>辰野町では現在、起債と言って国から借入を行っていますが、なるべく起債に頼らない財政運営をしていきます。実質公債費比率といって辰野町が下から3番目という時代がありました。現在、中位以上に入ってきた。値は18が目安であります。当時25で現在13.6に落ちてきている。数字が低いほど財政状況が良いわけであり。財政力指数といって0.4でしたのが0.548となっている。財政力もついてきている。このためには皆さんの税金もそうですが企業立地をしていかないと指数も上がっていかない。今まで企業誘致の政策を取ってきた。ユニカミノルタ、平井星光堂、シンセイ、など誘致した結果、自主財源も向上してきた。これを、使うにしても無駄に使用するではなく、余れば積み立てていきたい。</p> <p>第1回の会であり内容についてご説明申し上げますが、皆様の英知を結集され、有意義な会として、今後2・3回へと続きますが皆さんの忌憚ないご意見と出していきたいと思っております。</p>		
3. 委嘱書の交付	町長から各委員に交付		
4. 自己紹介	各委員		
5. 経過報告	辰野町第五次行財政改革大綱策定スケジュールに基づき 一ノ瀬課長補佐が説明		
6. 正・副会長の選出	一ノ瀬まちづくり課長進行により立候補なし。事務局の腹案により会長に林委員、副会長に赤羽委員を提案。各委員異議なしの声により決定		
7. 正・副会長あいさつ 林 会長	<p>今この大役を仰せ付かって戸惑っている。私以上に素晴らしい皆さんの集まりで私がやっでは申し訳ないと思っておりますが、指名されましたのでなんとか任務を果たして行きたいと思っております。非常に厳しい財政というか、町長さんが話された状態の中で今後5年間の方向性を出すわけですが、ご承知のとおり国自体がまだ不安定というか、先が正規に示さない状態の中で一番先頭に立っている市町村は大変だと思います、そういう中での計画であり、また、そういう時期だからこそ皆さんにご苦勞をいただいて大綱をまとめなければいけないかなとするわけなんですけど、23年度からということで期間もそう長くない間の期間の計画策定という</p>		

赤羽副会長	<p>ことで、皆さんに是非ご協力をいただき町の為になるような大綱の樹立をお願いしたいと思います。今後会議が予定されていますが、資料等をみていただき問題点等がありましたら事務局まで遠慮なく言っていただき、会議がスムーズに運びますようご協力ください。</p> <p>はじめに話しがあった時はびっくりしました。副会長ということで内心困っているのが現状です。一町民として町の広報誌等関心を持ってしっかり関心を寄せて行きたいと思います。何の役でもそうですが、役から逃げたい方ではありますが、今回この役をいただいた機会に勉強をして職責を果たしていきたいと思います。</p>
8. 諮問について	町長から林会長に諮問書を渡す。
9. 協議事項	(1) 第五次行財政改革大綱について
事務局説明	<p>第五次行財政改革大綱推進体制、1. はじめに、第四次行財政改革大綱作成時における背景、集中改革プランへの位置づけ、集中改革プランとは、第四次行財政改革大綱推進プログラムの特徴、辰野町第四次総合計画後期基本計画とは、第四次行財政改革大綱から第五次への考え方、第四次行革大綱の推進項目を整理し、第五次行革大綱へ、第五次総合計画の施策評価、第五次行財政改革大綱（案）体系図について説明する。</p>
事務局説明	<p>ア第四次行財政改革大綱推進プログラム（評価表）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第四次行財政改革大綱推進プログラムに評価173項目の内、評価実施状況C、D、E、F、について説明する。 ○質疑について質問事項なし
事務局説明	<p>イ中期財政見通しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中期財政見通しについて説明 ○質疑について質問事項なし
事務局説明	<p>ウ第五次行財政改革大綱（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第五次行財政改革大綱（案）について説明 ○質疑事項について
A 委員質問	<p>○大綱の11p「⑥町有財産の有効活用」と⑦「町有地の売却」の関係はどうなっているか。同じ売却を言っている。「⑦企業誘致の推進」ではないか。12p「⑧優良住宅の提供」は内容的に宅地の売却では。13p「③人事評価システムの導入」は「（1）人材の育成と活用」ではないか。9p「③常勤特別職、議会議員、各種委員会の報酬と各種委員会の定数見直し」の項目は、次の文章と同じであるがまちがいは。9p「②ウォータパークのあり方の検討」で16年度から休業中とあるがこれで終わり、利活用の推進か公共施設のあり方の検討か。8p①の辰野総合病院の信州大学医局を中心とあるが医局の状態はどのようになっているか医師が来るのかどうか。3p辰野総合病院の前に町立を入れた方がいいのでは。</p>
事務局回答	<p>○3p辰野総合病院の前に町立を入れた方がいいのではとのことですが、事業名を入れた関係で落ちています。入れた方がいいという指摘がありましたので入れます。</p> <p>○8p①の辰野総合病院の信州大学医局を中心とあるが、医局の状態はどのようになっているか医師が来るのかどうか。の質問ですが信州大学の医局は大事にしていかなければいけないのが現状です。信州大学との深い絆を過去からずっと保ってきたことから今後も継続いかなければいけない。それがすぐ来年度から医師が来るかと言われても難しい面もある。数年前から信州大学の医学部の学生に、人数は不明ですが長野県枠を設けている。ここで卒業の段階にきている、医局も信州大学の医局に入ってくれればいいと思うが、情報によると他の県の病院で研修を受けるという情報もあり少し困ったなあと思っている。その他の質問に関しては補佐が説明致します。</p>
事務局回答	<p>○9p「③常勤特別職、議会議員、各種委員会の報酬と各種委員会の定数見直し。」一見間違いのように思いますが、タイトルが長く、それぞれについての報酬、定数だと、このように書かなければしかたがなかった。まぎわらしくすみません。</p> <p>○9p「②ウォータパークのあり方の検討」ですが、町では16年度休業中という前提で、利活用についても検討を始めている。あれだけの施設ですので運営するも壊すのにも金がかかることなので中で、一部復元するとか形を替えて利活用を考えている。現時点は休業中の取り扱いとなっている。</p> <p>○11p「⑥町有地財産の有効活用」と「⑦町有地の売却」の関係はどうなっているかの質問ですが、「⑦町有地の売却」の文言の中に町、土地開発公社保有地を売却して活性化に繋がるんだと書いてあります。企業誘致は町としても重要な施策であり、行革的に考えますと土地開発公社が持っている長期保有地を早期に売却すれば行革的に繋がっていくという観点です。</p>

A 委員質問	○12p「⑧優良宅地の提供」につきましても、第4次で検討するも出来なかったということで評価を悪くしてありますが、町の土地ばかりでなく住宅も入っているということで理解をしていただきたいと思います。
事務局回答	○推進プログラム8P行革コード71に「優良宅地の提供」と大綱の「優良住宅の提供」の整合はどうか。
B 委員質問	○優良なのか優遇なのか。優良というのはちょっとおかしいでは。
A 委員質問	○プログラムが宅地の提供になっているものですから住宅の提供との整合はどうかと申したんです。検討してみてください。
事務局回答	○新田委員さんがおっしゃるとおり宅地でもいいかと思いますが、町としては安くて、良い土地を提供したい気持ちです。検討させていただきます。
事務局回答	○13p「③人事評価システムの導入」は（1）人材の育成と活用ではないか。の質問ですが、人材育成と職員の能力を発揮して少数化して職務を担っていける位置付けにより、行政がスリム化して業務を担って行く仕組みになる位置付けから入れました。
A 委員質問	○人材を育成するための人事評価ではないのですか。削減するための人事評価システムですか。
事務局回答	○おっしゃることはよく分かります。大綱の大きな6は、人事制度の見直しと人件費の抑制ということで、行財政改革は無駄な経費を省きながら、住民サービスの向上を図っていく2面を持っていますので、職員は今後減って行くと思います。質の良いサービスを提供して行くには人事評価制度、職員研修等充実していくことを加味してここに盛りました。
事務局説明	エ第五次行財政改革大綱推進プログラム（案）について ○第五次行財政改革大綱推進プログラム（案）基本方針についてのみ説明して終了。
事務局説明	次回の会議は第5次行財政改革大綱推進プログラムを1推進項目ごとに協議していくと提案。了承される。
事務局説明	（2）今後の日程について スケジュール（案）にて説明。1月中旬までに協議終了、1月下旬頃パブリックコメント実施、住民説明会実施、2月中旬答申、3月定例会報告予定。
会長	ここで審議事項を終了
10. その他	次回の日程 報酬の支払いについて口座管理届出書の提出を各委員に依頼する。
11. 閉会	一ノ瀬まちづくり政策課長により閉会。